

令和 7 年度 神戸市市民福祉調査委員会
計画策定・検証会議（第 1 回） 議事要旨

日時 令和 7 年 9 月 29 日（水）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

場所 神戸市役所 1 号館 8 階 大会議室・オンライン

議題 1. “こうべ”の市民福祉総合計画 2025 検証結果報告
2. 市民福祉に関する行動・意識調査 実施結果概要
3. 次期市民福祉総合計画の策定状況

【主な意見】

- ・地域活動への参加意欲はあるが、実際の参加率は低いという点について。高齢者も地域貢献に意欲を持っているが、実際の参加は数%にとどまる現状がある。参加方法やプロセスの見直しが必要。
- ・情報発信の方法や、制度を利用できていない人へのアプローチが課題。実態を伝える意識や、情報を得られる場の整備が必要。
- ・質的評価は重要であり、試みとして良かった。潜在的な声を聞くということはどうしても難しいため、課題としては残ってしまうが。
- ・量的評価はアウトプット指標の整理と目標設定が求められる。
- ・協働の主体（行政・民間・企業等）を明確にし、役割分担を整理することが重要。計画の方向性は「人づくり」「仕組みづくり」「環境づくり」の 3 つに分類されているが、主体を明確にしたほうが良いのではないか。
- ・政策として一元化して取り組んでいるものがあると思うが、それ以外の部分にも触れていただきたい。
- ・認知症神戸モデルなど、良いケースがあるが、課題にもあったようにこれをどう市民や企業に伝えていくかが大切になってくる。
- ・質的評価が難しいという話もあったが、要素的には外せないと思う。成果と同時に課題についても聞き取っていただきたい。
- ・こういう団体がこういう取り組みをやっている、ということが分かることに意味があると思う。次期計画の評価では意識する必要がある。
- ・検証なので、何かを批判するわけではなくて、もう少しピリッとした課題を入れたほうが良いのではないか。書きぶりの問題かもしれないが。
- ・計画の指標、目標、KPI といったところは、計画のどこかに取り入れていただきたい。